

区民と区長のタウンミーティング（2025年10月30日開催）

場所：中野区立南中野中学校

テーマ：子どもにとって住みやすいまちにしていきたいために区に提案したいこと

●主な意見（要旨）

空き家の活用について
南台地域には空き家が多い。自習室や遊ぶことのできるフリースペースとして有効活用してほしい。
現在、老朽化や危険性の観点から公園の遊具が簡易的になっている。また、遊具には年齢制限が設けられているものも多く、中学生が遊ぶことのできない遊具がたくさんある。 その結果、中学生の遊び場が少なくなっているため、 空き家を遊び場として建て替え、中学生の遊び場を提供してほしい。
区内に学習スペースのある図書館があるが、家から遠く通うことのできない人も多い。 空き家を自習室に建て替え、誰もが勉強しやすい環境を整えてほしい。
南台地域で川が氾濫した場合、多くの区民は南台小学校や南部すこやか福祉センターに避難することとなるが、施設に人が集中することで一人あたりの利用出来るスペースが少なくなってしまう。空き家に防災の機能を持たせることで、避難所として機能するのではないかな。
空き家は人の気配がなく、管理が行き届いていないことから、発火や放火のリスクがある。 フリースペースとして活用することによって、人通りが多くなり管理しやすくなるのではないかな。
中学生の居場所や公共施設について
他の自治体にあるような、静かに集中して勉強したり、本を読むことが出来る図書館のような自習スペースがほしい。新設に伴う費用をかけないように、生徒が下校した後の教室などを活用するといったのではないかな。学習スペースを設けることで、学習の習慣化につながる。
区内の公園では、野球などボール遊びが禁止されている公園が多くある。体育館など雨の日でも自由に運動することが出来る室内施設がほしい。小学生の体力が年々減少傾向にあるというデータもある。子どもから大人まで運動できる室内施設を設置することによって、体力の向上が見込めるのではないかな。
区のイベント、情報発信について
区のyoutubeチャンネルの登録者数が少ない。他区に比べ活発性がないことや、企画に興味を惹かれないことが原因ではないかな。最近の流行や中野区のお店や各学校の紹介を行うなど、若者向けの動画を作成してはどうか。
インフルエンサーや有名人に区のPRを依頼するのはどうか。区の知名度の上昇や、観光客の増加、地域の活性化など様々な効果が期待できる。現在問題となっているふるさと納税による減収も軽減されると思う。